

様式3 和歌山リハビリテーション専門職大学
教員資格及び教育内容等の自己評価書様式

【自己評価 1-1】専任教員の配置状況

学部・学科等の名称	専任教員数								非常勤教員	専任教員一人あたりの在籍学生数	備考
	教授	准教授	講師	助教	計	基準数	うち理学療法士又は作業療法士数	助手			
作業療法学専攻課程	7人	1人	3人	0人	11人	6人	6人	0人	34人	5.27人	
計	7人	1人	3人	0人	11人	6人	6人	0人	34人	-	

【自己評価 1-2】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
<input type="radio"/>	理学療法士又は作業療法士である専任教員の配置人数が適正であり、かつ関連領域を教授できる医師等の専門家が配置されている。	3
	理学療法士又は作業療法士である専任教員の配置人数が適正である。	2
	理学療法士又は作業療法士である専任教員の人数が適正でない。	1

【自己評価 1-3】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
<input type="radio"/>	全ての養成施設指導ガイドラインの教育内容(講義)を専任教員か、専任教員と同等以上の知識を有する教員が担当している。	4
	9割以上の養成施設指導ガイドラインの教育内容(講義)を専任教員か、専任教員と同等以上の知識を有する教員が担当している。	3
	8割以上の養成施設指導ガイドラインの教育内容(講義)を専任教員か、専任教員と同等以上の知識を有する教員が担当している。	2
	上記以外である。	1

自己評価	評価内容	判定
<input type="radio"/>	専任教員(理学療法士又は作業療法士)は、全員が臨床に携わることで臨床能力の向上に努めている。	3
	専任教員(理学療法士又は作業療法士)は、一部が臨床に携わることで臨床能力の向上に努めている。	2
	専任教員(理学療法士又は作業療法士)は、臨床に携わることで臨床能力の向上に努めていない。	1

【自己評価 2-1】養成施設指導ガイドラインとの連動状況

分野 (基礎・専門 基礎 ・専門)	指定規則教育内容	相当授業科目名	担当コマ数	担当教員	
				氏名	職名(専任・兼任)
基礎科目	科学的思考の基礎	心理学	15	木村 正徳	兼任
		生物学	15	廣瀬 正紀	兼任
		物理学	8	有本 収	兼任
		統計学	15	中川 優	講師・専任
		健康科学	15	増田 美智子	兼任
		プログラミング	15	中川 優	講師・専任
		IoT入門	15	中川 優	講師・専任
	人間と生活	哲学	8	西内 亮平	兼任
		生命倫理	15	田中 優	教授・専任
		健康とスポーツ	15	新宅 幸恵	教授・専任
		教育学Ⅰ	15	碓井 岑夫	教授・専任
		教育学Ⅱ	15	碓井 岑夫	教授・専任
		老年学	8	甲村 朋子	兼任
	社会の理解	社会学	8	立野 淑郎	兼任
		法学	8	和田 隆夫	兼任
		情報処理Ⅰ	15	中川 優	講師・専任
		情報処理Ⅱ	15	中川 優	講師・専任
		英語Ⅰ	15	藪内 昭男	教授・専任
		英語Ⅱ	15	藪内 昭男	教授・専任
		人体構造学Ⅰ(骨・筋系)	15	盛口 敬一	教授・専任
	人体構造学Ⅱ(脈管・内臓系)	15	盛口 敬一	教授・専任	
	人体構造学Ⅲ(神経系)	15	盛口 敬一	教授・専任	
	人体構造学実習	15	盛口 敬一	教授・専任	

職業専門科目（専攻共通）

人体の構造と機能及び心身の発達	体表解剖学演習	15	湯川 喜裕	講師・専任	
	人体機能学Ⅰ	15	渡邊 和子	教授・専任	
	人体機能学Ⅱ	15	渡邊 和子	教授・専任	
	人体機能学実習	15	渡邊 和子	教授・専任	
	運動学Ⅰ	15	新宅 幸憲	教授・専任	
	運動学Ⅱ	15	谷村 浩子	兼任	
	運動学実習	15	新宅 幸憲	教授・専任	
	人間発達学	15	新宅 幸憲	教授・専任	
	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	病理学	15	京 雪楓	教授・専任
		内科学	15	北端 宏規/樽谷 玲/山野 貴司	兼任
		神経内科学Ⅰ	15	京 雪楓	教授・専任
		神経内科学Ⅱ	15	京 雪楓/吉田 愛菜/青木 陽平	教授・専任/兼任
		整形外科学Ⅰ	15	田中 優	教授・専任
		整形外科学Ⅱ	15	田中 優・玉置 康之	教授・専任/兼任
		小児科学	15	末永 智浩	兼任
臨床心理学		15	小澤 裕子	兼任	
精神医学		15	宮西 照夫	兼任	
臨床薬理学		8	新谷 紀人	兼任	
臨床栄養学		8	西出 充徳	兼任	
予防医学		15	吉崎 邦夫	教授・専任	
救急援助論		15	田中 優	教授・専任	
臨床・画像診断学	15	田中 優	教授・専任		
保健医療福祉とリハビリテーションの理念	リハビリテーション概論	8	松井 有史	講師・専任	
	社会福祉学	15	西田 紀子	兼任	
	チーム医療論	15	鍵井 一浩	教授・専任	
	地域包括ケア論	15	鍵井 一浩/西尾 恵	教授・専任/講師・専任	
	地域環境活動演習	15			
	地域包括ケア演習	15			
	トータルヘルスプロモーション	15	増田 美智子/松永 秀俊	兼任/教授・専任	
基礎作業療法学	作業療法概論	15	巽 絵理/長辻 永喜	教授・専任/教授・専任	
	基礎作業学	15	大松 慶子	准教授・専任	
	作業療法研究論	15	吉田 一平	講師・専任	
	基礎作業学実習Ⅰ	15	吉田 一平/湯川 喜裕	講師・専任	
	基礎作業学実習Ⅱ	15	西尾 恵/湯川 喜裕	講師・専任	
作業療法管理学	医療関連法規	15	和田 隆夫	兼任	
	作業療法管理学	15	長辻 永喜	教授・専任	
作業療法評価学	作業療法評価学総論Ⅰ	15	長辻 永喜	教授・専任	
	作業療法評価学総論Ⅱ	15	巽 絵理/長辻 永喜	教授・専任	
	作業療法評価学実習	30	湯川 喜裕/西尾 恵	講師・専任	
	作業療法評価学Ⅰ	15	西尾 恵	講師・専任	
	作業療法評価学Ⅱ	15	巽 絵理	教授・専任	
	応用評価学演習	15	石橋 誠隆	兼任	
作業療法治療法	身体障害作業療法学Ⅰ	15	吉田 一平/湯川 喜裕	講師・専任	
	身体障害作業療法学Ⅱ	15	湯川 喜裕/西尾 恵	講師・専任	
	身体障害作業療法学実習Ⅰ	15	湯川 喜裕/吉田 一平	講師・専任	
	身体障害作業療法学実習Ⅱ	15	湯川 喜裕/長辻 永喜	講師・専任/教授・専任	
	作業療法義肢装具学	15	寺村 健三/藤澤 秀生/坂本 あきな	兼任	
	福祉用具学	15	長辻 永喜	教授・専任	
	発達障害作業療法学Ⅰ	15	大谷 真寿美	兼任	
	発達障害作業療法学Ⅱ	15	大谷 真寿美	兼任	
	精神障害作業療法学Ⅰ	15	巽 絵理	教授・専任	
	精神障害作業療法学Ⅱ	15	巽 絵理	教授・専任	
	老年期障害作業療法学Ⅰ	15	大松 慶子	准教授・専任	
	老年期障害作業療法学Ⅱ	30	大松 慶子	准教授・専任	
	日常生活活動学	30	西尾 恵/吉田 一平	講師・専任	
	日常生活活動学実習Ⅰ	30	吉田 一平/ 西尾 恵	講師・専任	
	日常生活活動学実習Ⅱ	15	湯川 喜裕	講師・専任	
	障害者スポーツ演習	15	長辻 永喜 / 松井 有史	教授・専任/講師・専任	
	高次脳機能障害の治療法	15	湯川 喜裕	講師・専任	
	認知症の理解とその支援	15	大松 慶子	准教授・専任	
	レクリエーション活動演習	15	巽 絵理	教授・専任	
	ハンドセラピー演習	15	飯塚 照史	兼任	
専門手技療法学演習	15	秋山純和	教授・専任		
地域作業療法学	地域作業療法学Ⅰ	15	巽 絵理 / 長辻 永喜	教授・専任	
	地域作業療法学Ⅱ	15	大松 慶子	准教授・専任	
	地域作業療法学実習	30	西尾 恵	講師・専任	
	作業療法見学実習	15	OT教員全員		

職業専門科目（作業療法学専攻）

	臨床実習	作業療法体験実習	30	OT教員全員	
		作業療法評価実習	60	OT教員全員	
		作業療法総合臨床実習	240		
展開科目	必修展開科目	ふるさと・紀州学	15	平松 正昭	兼任
		地域健康支援の現状と課題	15	松井 有史 / 長辻 永喜	講師・専任/教授・専任
		組織論	15	大泉 英次	教授・専任
		地域活性企業論	15	大泉 英次	教授・専任
		リーダーシップ論	15	吉崎 邦夫	教授・専任
	選択展開科目	経営と会計	15	大泉 英次	教授・専任
		医療経済論	15	大泉 英次	教授・専任
		地域防災論	15	松井 有史 / 西川一弘	講師・専任/兼任
		支援ロボット論	15	中嶋 秀朗	兼任
		産業保健論	15	異絵理 / NSメディカル・ヘルスケアサービス	教授・専任/兼任
		地方自治と生活	15	和田 隆夫	兼任
		生涯スポーツ論	15	榎本 潤一	兼任
		ソーシャルスキル論	15	赤井 由賀里	兼任
		医用・福祉工学論	15	鈴木 新	兼任
		発達障害児・者の現状	15	形部 麻里 / 大谷 真寿美 / 異絵理	兼任/教授・専任
		地域連携研究	15	宋 謙	兼任
		アンチエイジング	15	異絵理 / 高橋 華奈子	教授・専任/兼任
総合科目	作業療法総合科目	専門職連携総合演習A	15		
		専門職連携総合演習B	15		
		専門職連携総合演習C	15		
		応用作業療法演習 I	15	大松 慶子	准教授/専任
		応用作業療法演習 II	15	長辻 永喜 / 西尾 恵	教授・専任/講師・専任
		作業療法総合演習	30		

【自己評価 2-2】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
<input checked="" type="radio"/>	養成施設指導ガイドラインに基づき、教育課程を体系的に編成している。	3
<input type="radio"/>	養成施設指導ガイドラインに基づき、教育課程をおおむね体系的に編成している。	2
<input type="radio"/>	養成施設指導ガイドラインに基づいていない、または教育課程を体系的に編成していない。	1

自己評価	評価内容	判定
<input type="radio"/>	シラバスにすべての授業科目の授業計画、全体目標、成績評価基準・方法を明記している。	4
<input checked="" type="radio"/>	シラバスにすべての授業科目の授業計画、全体目標、成績評価基準・方法をおおむね明記している。または、大半の授業科目の授業計画、全体目標、成績評価基準・方法を明記している。	3
<input type="radio"/>	シラバスの記載が十分ではない。	2
<input type="radio"/>	シラバスが作成されていない。	1

【自己評価 3-1】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
<input checked="" type="radio"/>	養成施設指導ガイドラインに従った診療参加型による臨床実習を実施している。	4
<input type="radio"/>	養成施設指導ガイドラインに従った診療参加型による臨床実習をおおむね実施している。	3
<input type="radio"/>	養成施設指導ガイドラインに従った診療参加型による臨床実習を十分に実施していない。	2
<input type="radio"/>	養成施設指導ガイドラインに従った診療参加型による臨床実習を実施していない。	1

【自己評価 3-2】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
<input checked="" type="radio"/>	講義と関連の実習が十分に連動して実施されている。	4
<input type="radio"/>	講義と関連の実習がおおむね連動して実施されている。	3
<input type="radio"/>	講義と関連の実習が十分に連動して実施されていない。	2
<input type="radio"/>	講義と関連の実習が連動して実施されていない。	1

●基本情報：臨床実習の見学又は実践する範囲とそれに関連する講義科目それぞれの開講時期を記入してください。

臨床実習の見学又は実践する範囲	開講時期	関連講義名	開講時期
作業療法見学実習 リハビリテーションにおける作業療法の実践を見学 作業療法士の役割と責任について見学 基本的な接遇のあり方を実践	1年前期	リハビリテーション概論 作業療法概論	1年前期 1年前期
作業療法体験実習【前半】 作業療法士による訪問リハビリテーション・通所リハビリテーションの実践場面の見学 作業療法の面接・観察・記録の基本的な事項の実践	2年後期	医療関連法規 作業療法評価学総論Ⅰ 作業療法評価学総論Ⅱ 作業療法評価学Ⅰ	1年後期 1年後期 2年前期 2年前期
作業療法体験実習【後半】 作業療法の基本的検査・測定の実践	2年後期	作業療法評価学実習 身体障害作業療法Ⅰ 身体障害作業療法Ⅱ 福祉用具学 日常生活活動学 作業療法評価学Ⅱ	2年前期 2年後期 2年後期 2年後期 2年後期 2年後期
作業療法評価実習 作業療法評価に必要な知識を確認し、基本的技術と思考力の実践 情報収集、面接、観察、検査/測定、問題点の列挙(統合と解釈)、目標設定までの評価過程の理解と実践	3年後期	基礎作業学実習Ⅰ 身体障害作業療法学実習Ⅰ 発達障害作業療法学Ⅰ 精神障害作業療法学Ⅰ 老年期障害作業療法学Ⅰ 日常生活活動学実習Ⅰ 日常生活活動学実習Ⅱ 地域作業療法学Ⅰ 地域作業療法学Ⅱ	2年後期 3年前期 3年前期 3年前期 3年前期 3年前期 3年前期 2年後期 3年前期
作業療法総合臨床実習 評価過程の実践及び評価結果に基づく目標設定、治療プログラム立案、治療、効果判定の実践、及び他職種連携、実習施設の機能(役割)の理解と管理業務の体験を含む総合的な実習	4年前期	作業療法義肢装具学 身体障害作業療法学実習Ⅰ 発達障害作業療法学Ⅰ 精神障害作業療法学Ⅰ 老年期障害作業療法学Ⅰ 高次脳機能障害の治療法 認知症の理解とその支援 レクリエーション活動演習 ハンドセラピー演習 地域作業療法学実習	3年後期 3年後期 3年後期 3年後期 3年後期 3年後期 3年後期 3年後期 3年後期

自己評価	評価内容	判定
<input checked="" type="radio"/>	養成所指導ガイドラインで定める要件を満たす主たる実習施設で十分な臨床実習が実施されている。	3
<input type="radio"/>	養成所指導ガイドラインで定める要件を満たす主たる実習施設で一部の臨床実習が実施されている。	2
<input type="radio"/>	養成所指導ガイドラインで定める要件を満たす主たる実習施設を置いていない。	1

【自己評価 3-4】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
<input checked="" type="radio"/>	適正な臨床実習指導者の下で実習が実施されている。	4
<input type="radio"/>	適正な教員の監督指導の下で実習がおおむね実施されている。	3
<input type="radio"/>	適正な教員の監督指導の下で実習が十分に実施されていない。	2
<input type="radio"/>	適正な教員の監督指導の下で実習が実施されていない。	1

【自己評価 3-5】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
<input checked="" type="radio"/>	臨床実習におけるハラスメント防止のための体制があり、対応が十分である。	3
<input type="radio"/>	臨床実習におけるハラスメント防止のための体制はあるが、対応が十分でない。	2
<input type="radio"/>	臨床実習におけるハラスメント防止のための体制がなく、対応も不十分である。	1

【自己評価 4-1】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
<input type="radio"/>		

	自己点検・評価の体制があり、改善に向けて機能している。	3
○	自己点検・評価の体制はあるが、改善に向けて機能していない。	2
	自己点検・評価の体制がない。	1

●基本情報：自己点検・評価体制記入してください。

自己点検・評価組織名	自己点検・評価委員会
委員名(委員長)	学長 寺下 敏雄
組織の開催頻度	1年に1回
組織の取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・学生による授業評価の分析 <p>本学の大学の教育研究水準の向上を図り、その目的及び社会的使命を達成するため、本学の教育研究活動及び管理運営を自ら点検し、評価する。 具体的には、各種委員会や学内各部署が推進する中期計画及びアクションプランの進捗状況に関する中間及び期末における点検・評価を実施している</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生による授業評価アンケートの分析結果の確認
自己点検・評価結果の公表	HPで公表(URL: https://wakayama.kyowa.ac.jp) 自己点検・評価活動の内容を1年に1回、自己点検評価書を自主的に作成して大学ホームページで学内外に公表している。2023年度に当該年度の自己点検・評価活動を対象とする自己点検評価書を作成して公表した。また、各教員の研究業績に関しては、大学ホームページに掲載している

自己評価	評価内容	判定
	シラバス記載内容を改善する仕組みがあり、シラバスの記載内容の改善が行われている。	3
○	シラバス記載内容を改善する仕組みはあるが、シラバスの記載内容の改善は十分ではない。	2
	シラバス記載内容を改善する仕組みがない。	1

●基本情報：シラバス記載内容を改善する仕組みについて記入してください。

該当する仕組み	名称	教務委員会
	委員構成等	教務委員長・教務委員
	改善の仕組みの実際	シラバス作成マニュアルを全教員に配布して記載内容について各教員が改善に努めている。更に次年度のシラバス内容を学科長と教務委員長が点検し、必要に応じて改善(修正)している。

【自己評価 4-3】自己点検・評価及び第三者評価の結果を改善に繋げるための取り組みを記入してください。

<p>自己点検・評価委員会は、本学の教育研究活動及び管理運営を自ら点検・評価している。 点検・評価の結果は、学科長および各担当部門で周知され、必要に応じて対策が検討されている。また、学部点検・評価の結果は、全学の自己点検・評価委員会にも報告され、大学全体で問題点を共有した後、必要に応じてシステムの見直しを検討されている。 第三者評価はまだ受審できていないが、2024年度に一般社団法人リハビリテーション教育評価機構による教育評価を受ける予定である。この評価結果は大学ホームページにて公表する。</p>
